

# 報恩寺だより

No. 44  
平成26年4月1日発行  
おたすけ観音 報恩寺  
綾瀬市寺尾南2-10-1  
電話 0467-78-7160  
FAX 0467-79-1567

## 大般若祈祷会勤修について

5月17日は、おたすけ観音の縁日です。皆様の家内安全、身体健全、諸災消除、諸縁吉祥を祈り、大般若祈祷会を次により行いますので、お誘い合わせのうえ御参詣くださるよう、ご案内申し上げます。

### 記

期 日 平成 26 年 5 月 17 日 (土)

日 程 午後 1 時 御詠歌  
午後 2 時 大般若祈祷会  
午後 3 時 落語 隅田川 馬石 師匠  
午後 4 時 小斎

祈祷料 (2,000円) は、この報恩寺だよりを郵送した封筒にいれ、  
当日御志納お願い致します。

## 特別御寄進

次の方々から特別御寄進を頂きました。各位の御芳志に感謝すると共に供養菩提のご冥福をお祈りいたします。

平成 25 年 4 月 高嶋 勝美様 平成 25 年 7 月 橋川 忠弘様 平成 25 年 10 月 石川満里子様  
平成 25 年 6 月 奥津 寛保様 平成 25 年 9 月 橋川 雅弘様 平成 25 年 10 月 小山 尚史様  
平成 25 年 6 月 早川 雪男様 平成 25 年 10 月 石川 晃様

### ◆ 報恩寺年間行事予定 ◆

4月 8日	花祭り	12月 8日	成道会
5月 17日	大般若祈祷会	12月 31日	除夜の鐘
8月 7日	大施餓鬼会	1月 1日	お年始詣り
9月 15日	秋彼岸会法要	2月 10日	涅槃会
10月 20日・21日	總持寺大遠忌檀参	3月	春彼岸会法要

## 「ノーリスク ノーファン」

昨年、埼玉県のお寺さんの本堂新築地鎮式の撮影のお手伝いをさせていただき、また3年後の上棟式もお願いいたしますとのご依頼をいただきました。そこで、上棟式の法要や儀式を屋根の高さから撮影したいと考えました。

最近よく使う撮影方法は GOPRO というアクションカメラに一脚のような棒をつけ、高い位置からのカメラアングルを多用していましたが、上棟式を上から撮影するのはさすがにできません。そこで空撮という方法が思い浮かびました。最近はマルチコプターというものがあり、簡単に空撮が可能というインターネットの投稿や、テレビなどの報道をみて、いろいろと探してみましたが、日本製のものは見当たらず、まずはカメラ付きのおもちゃのマルチコプターを購入しました。意外と画質もよく、安定して飛行させることができます。これで何ができるのではないかと思いましたが、そこはやはりおもちゃ、墜落とロストで4機を失いこれでは、らちが明かないと思いラジコン屋さんを訪ねることにしました。

しかし、私が訪ねたお店は本格的なラジコンヘリ屋さんで「上棟式の空撮をしたい」ということを告げると、まずインターネットでマルチコプターを買いそれに慣れたら相談に乗りますといわれ、何とか日本代理店を探しあて日本語説明書付のものを発見し、さっそく購入しました。

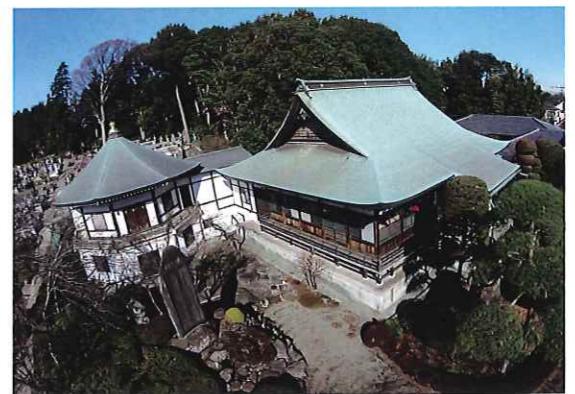
いまのマルチコプターは実によくできています。機体が届き箱から出してバッテリーを充電すればすぐに飛ばすことができます。GPS や高度計などを搭載しているのでコントローラーから手を放しても、その位置と高度を保ち続けます。そして、コントローラーからの電波が途切れると離陸をした地点に自動的に帰着するという優れものです。

しかし、そこに行きつくまで決して要領よく行ったわけではありません、それなりの時間とお金と労力を費やしました。今回、空撮の動画などをみて気になった言葉は「ノーリスク ノーファン」でした。とても素晴らしい映像の後にメイキングビデオがあり、撮影方法や NG 集が紹介され、最後に「No Risk, no Fun」とありました。その魅了される映像は、いくつもの失敗と経験を積み重ねた上に成り立っている。空撮は危険の伴うもの、人生もまたしかり、喜びは苦しみがあってこそ際立つのであります。無駄や失敗はその人の魅力をさえているのだと思いました。

副住職 加藤 良隆



平成 26 年 3 月 22 日撮影



ラオスで最高の寺院と位置づけられているタートルアン寺院にお参りしました。タートルアンは三世紀にブッダの胸骨を納めるために建立したとの伝承があります。十一月十六日の満月の日に合わせ一週間にわたりラオス中の僧侶や信者が集まりタートルアン祭りが開催されます。我々が訪れた時は祭りの三日前ですが、それでも大変な賑わいででした。また、昼間は穏やかなのですが、前夜祭がとても多くの人で賑わっているのには驚きました。



最終日には曹洞宗とかかわりの深い、公益社団法人 シヤンティ国際ボランティア会 (SVA) のラオス事務所を訪問しました。ビエンチャンにあるラオス事務所にてラオスの現状とラオス事務所の活動についてお話をいただきました。SVAラオス事務所の主な活動は、学校建設・学校教育・校外教育・伝統文化支援などっています。神奈川県第二宗務所より寄付を受けました。

なお、「ラオス研修旅行記」はyoutubeで「ラオス研修旅行」で検索をしていただくと研修旅行の様子を動画でみることができます。



また、小物を売っている出店にて籠の鳥を売っているのかと思いましたが、籠の中の鳥を放つという施しということなので、体験してみました。

## ラオス研修旅行記

平成25年11月11日から15日まで3泊3日の神奈川県第二宗務所宗務所主催のラオス檀信徒研修旅行に行ってまいりました。

ラオスは、西にタイ、南にカンボジア、東にベトナムで、北が中国に囲まれた内陸国です。人口は640万人程（横浜市の人口は約400万人）、国土面積はだいたい本州と同じです。



まずは、世界遺産に指定されているルアンババーンでも通りの商店や売り子さんから供物を購入し歩道上に座り喜捨することができます。



ルアンババーンの托鉢が行われている通りからメコン川方向に1本入った裏通りに朝市（タラート）が開かれています。市場を見るとその街の特徴を感じることができます。

高齢化社会の日本の違いを感じたのは、若い人が多く働いているということでした。ラオスの人は皆穏やかで優しい印象をうけました。